

# 農業委員会だより



網野神社秋の例祭において御陵区の子供たちによる神楽「剣四方舞」が奉納されました。

(写真: 梅田 和男委員)

## ● 目次 ●

2~3P **農を語る** 宮本 敏宏さん(久美浜町栢谷)

●京丹後市農地等の利用の最適化の推進に関する  
施策についての意見書

4~5P ●利用権設定における賃貸料(情報)

●先進地視察レポート

6P **瓦版** ●事務局からのお知らせ

●東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会

7P **京丹後紀行「白滝不動」** ~大宮町 常吉~

郷土料理 花アラレ「餅花木」

8P **農業者年金に加入しましょう**





計量器の音声で芋のサイズを選別します。

省力化のため機械は30種類程所有しています。マルチローター、トラクターダンプ、振動式芋掘上機、つる切り機、ラジコン動噴、乗用植え付け作業車、菊選別機、手動マルチ回収機等です。以前オフロードバイクの整備をやっていたので全て整備は自分でやります。整備をやる事で経費節減になっています。

優れたものは軽トラク牽引車です。キャベツを出荷するのに一度に二台分を運べます。自分で作成したブームスプレイヤーも防除に効果を上げています。これらの作業風景は自身のユーチューブで動画を撮って配信しています。現在17,000人のフォロワーがいます。

免許も色々所持しています。国営ほ場では獣害があると考え、千葉か

**【どんな時に幸せを感じますか】**  
 仮説を立て実践して思いどおりになった時です。例えば、肥料設計がうまく行き、思いどおりの収穫が出来た時です。

**【将来の目標は】**  
 営農組合を作り、地元の人と同じ作物を栽培し、規模拡大をしたいです。

**【仕事をしながら困っていることはありますか】**  
 重量野菜を扱っているので、出荷調整場作業場がほしいです。現在は自分で建てたプレハブ(15坪)を使用していますが、狭くなったのでもう1棟ほしいです。基本は簡易のパイプハウス等ではなく屋根、壁、コンクリートの土間が必要と考えています。畑の面積はあるので甘藷を冬場の仕事として増反したいのですが貯蔵場所が必要となります。

ら移住する時点で第一種銃猟免許を取得、その後、所持免許を取得しました。アマチュア無線技士、フォークリフト、大型自動二輪、大型特殊自動車の免許のほか、古物商の資格も持っています。

**【取材を終えて】**  
 真面目で行動力が凄いところです。名刺には「京野菜ドットジェイピー」キャラクターはプロに作ってもらい、京都に来る前に考えたと言う名刺です。ある日フェイスブックで九州にいますとあって、何かと思ったら菊の選別機を手に入れたので福岡県八女市まで取りに来ていますとありました。行動力の活発な宮本さんの心の中には、まだまだ農業の取組を進展させていく意気込みを感じました。これからがんばって下さい。



取材：瀬戸牧男委員

# 農を語る

## 京野菜ドットジェイピー

代表 **宮本敏宏さん** (43才) 久美浜町栃谷



平成27年4月から丹後農業実践型学舎第3期生として2年の研修をへて、個人事業主となり営農を開始し3年目の宮本さん取材しました。

**【就農したきっかけはなんですか】**  
 38才の時に思い立つ。サラリーマンを13年やってきましたが、定年後とかを考えていた時期に、テレビで脱サラ就農を目指す番組を見る中で妻と話し、定年のない農業に興味を持ちました。

**【京丹後市を選んだ理由】**  
 平成26年に東京の「全国新規就農相談センター」に相談に行き可能性をさぐりました。各自自治体のパンフレットを沢山紹介されましたが、パツとしたものがありました。その時は、農業をするにあたり必要なものは、農地・機械・住宅・先生この4点が揃ったものが無かった中で、唯一、丹後が学舎の独身寮が完備されており、研修で入った農地がそのまま使用出来るという利点もあり、翌日に京丹後市に連絡し、願書を提出しました。

**【現在の耕作面積と作物】**  
 ●経営(借地)面積は25ha  
 主な作付品目は  
 ●加工キャベツ 47a (12月収穫)  
 ●甘藷 36a  
 品種は「紅はるか」「シルクスイート」「ヒタチレッド」  
 販売は半分を農協への加工用、半分は直接販売を行っています。  
 ●小菊3aは農協の共販出荷しています。

**【仕事をしながら工夫している事】**  
 省力化これにつきます。一人でやる事を基本としていますので、機械・設備を充実させていかに楽をして仕事をするかを考えています。雇用労働力は甘藷の掘り取り作業やキャベツの定植作業等一部のみです。



### 全国農業新聞を購読してみませんか？



全国農業新聞は公的機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある面白い話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円(消費税込み)



# 利用権設定における賃借料のお知らせ

平成30年1月から12月までに締結（公告）された賃借権における賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりとなっております。  
この賃借料情報はあくまで目安です。貸し手と借り手が十分に話し合い、お互いが納得できる額で設定して下さい。

情報



## 1 田(水稻)の部

(単位：円)

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数(筆)	備考
峰山町	7,900	15,000	4,700	31	
大宮町	5,900	13,000	4,000	217	
網野町	11,000	19,100	1,900	369	
丹後町	6,400	14,000	3,400	333	
弥栄町	8,800	14,000	4,200	1,219	
久美浜町	7,100	15,000	3,900	1,098	
(参考)京丹後市平均	8,000			3,267	

## 2 畑の部

(単位：円)

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数(筆)	備考
峰山町	0	0	0	0	
大宮町	10,700	15,000	10,000	97	国営農地
網野町	10,800	26,000	4,200	151	一般畑 国営農地
丹後町	15,000	15,000	15,000	21	国営農地
弥栄町	14,900	15,000	13,000	43	一般畑 国営農地
久美浜町	19,500	25,000	4,000	65	一般畑 国営農地
(参考)京丹後市平均	13,000			377	

せ、新規就農者を迎える動きが高まりました。農業委員が対象者に働きかけ1名の新規就農者を確保し中心的経営体に位置づけると共に、中間管理事業を活用して約1haを2名の認定農業者へ集積しました。プランの話し合いを契機に今まで個別に水稲と野菜の複合経営が継続的に行われていましたが、低コストな米作りを目指し「集落営農組織化」を検討、その後、地区全体で取り組むことになりました。約1年間の話し合いを重ね、平成27年12月にプランの策定がされています。プラン策定後も定期的に月1回の検討委員会が開催され、若手農業者を中心として農業委員・推進委員が一緒に、担い手の負担軽減や、農地集積などについてアドバイザリーとして話し合いに参加されているとの事でした。

もう一つの集落の事例も同様のスタイルで進めており、成果をあげられています。

この様に市内19地域が農業委員会のバックアップによって、大きく前進していることを伺い、刺激を受けたところです。

京丹後市の農業委員と推進委員も毎月6地区(旧6町)で定例会を開き、情報交換と課題解決へ向け各集落に向き色々と地域の声を聞いて取り組んでいます。今回の南あわじ市の研修を参考に、より一層の集落営農発展に寄与努力すべく頑張っていかなければと痛感しております。

地域の皆さんの一層のご協力をお願いいたします。



令和元年度

# 意見書を提出しました

10月23日、農業委員会では健全な農地利用と担い手育成等を推し進めるため、三崎市長へ梅田会長と吉岡職務代理が意見書の提出を行ないました。



## 1 水田農業の担い手対策と農地利用について

- (1) 農業者の高齢化や農業所得が低迷するなか、農業機械の更新が困難となる状況が生じており、今後、離農に拍車がかかることが懸念されることから、農業用機械更新時の支援対策を講じること。
- (2) 担い手不足を解消するため、市外からの新規就農者並びに市内の意欲ある農業後継者等の、次代を担う若い農業者を確保・育成するとともに、集落営農の組織化と法人化を推進し、5年後、10年後を見据えた担い手対策を講じること。
- (3) 京力農場プランの新規作成と既存プランの実質化の推進については、プラン作成区域の広域化を進めるとともに、まちづくりと連携した取り組みとなるよう関係部局と協力のうえ進めること。
- (4) 水田農業の担い手対策として、丹後農業実践型学舎の水田版の創設を京都府に対し要望すること。

## 2 畑作農業の担い手対策と農地利用について

- (1) 丹後農業実践型学舎生並びに地域の農業後継者が、安定的な農業経営を行うことができるようきめ細かいサポート体制を構築するとともに、丹後農業実践型学舎終了後を見据えた新規就農者の確保・育成対策を講じること。
- (2) 新規就農の際に必要な機械・施設等の設備費用を助成する施策を講じること。
- (3) 国営開発農地の畑地不足の解消対策として、水田の畑地化を検討するなどの対策を講じること。
- (4) 国営開発農地については、京力農場プラン作成と合わせて、全ての団地において農地中間管理機構を活用した利用権設定が行われるよう、団地管理組合に対し積極的な指導を行うこと。
- (5) 滞在型市民農園(クラインガルデン)に加え、都市住民が自宅から通って利用できる日帰り型市民農園の整備を検討すること。

## 3 担い手農業者の経営支援対策について

運送料の値上げに伴う農業経営への影響を軽減するため、JAや丹後王国等と連携した農産品物流の効率化を図る仕組みを検討するなど、流通コスト削減の取組みを推進すること。

## 4 優良農地の確保と有効利用について

- (1) 農道・水路等の農業用施設の整備と、府営圃場整備事業や農地中間管理機構関連農地整備事業等の土地改良事業の積極的な推進を図ること。
- (2) 農業者の個人申請による小規模基盤整備等(畦畔除去)の補助事業の創設を検討すること。
- (3) 災害により被災を受けた農地・農業用施設について、営農に支障が出ないよう早期の復旧に努めること。
- (4) 多面的機能支払交付金事業の集落連携による組織力の強化と、活動の維持発展を図るため、広域化を積極的に推進すること。
- (5) 優良農地を守る観点から、早急に建設発生残土の処分場の確保を検討すること。

## 5 京丹後市産農産物の認知度の向上について

- (1) 京丹後市の知名度を全国及び海外に周知するための施策が重要であることから、市職員が営業マンであるという自覚を持ち、各部署総力を挙げた周知活動、販売戦略を進めること。
- (2) 市内産農産物の更なる認知度向上と消費拡大を図るため、関係機関が一体となり地域ブランド化、産地化を推進する施策を講じること。
- (3) コシヒカリに代わる新品種の早急な実証栽培を目指すとともに、農業者への普及推進を早期に実現できるよう京都府へ要請すること。

## 6 野生鳥獣被害対策について

- (1) 防護柵等の設置に係る地元負担の予算措置を講じること。
- (2) 積極的な駆除を進めるため、地元の協力体制と狩猟免許取得の支援や捕獲員の確保対策を講じること。
- (3) 捕獲個体処理施設の設置については、地域の意向や周辺環境に十分配慮した地区選定を行うこと。

## 7 実施体制の強化について

- (1) 各種施策を実施するために農林部局内の職員体制を整備強化すること。
- (2) 農業委員会等に関する法律の改正にともなう事務量の増加に対応するため、農業委員会事務局職員の定数を満たすこと。

# 視察研修レポート

農業委員 山副 孝雄

11月14日、京丹後市農業委員会の先進地視察研修を実施し、総勢19名で兵庫県南あわじ市農業委員会を訪問しました。視察会場は平成27年に完成された立派な新庁舎で、竹田会長をはじめ7名に対応して頂きました。まず市の概要説明があり、平成17年1月11日三原郡の4町が合併して新市が誕生。面積は229km<sup>2</sup>、人口47,073人、世帯数19,530、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、特に冬季は京丹後市と比較して非常に温暖な気候で、野菜栽培に適しており、玉葱、レタスなどの周年栽培が盛んであると伺いました。

農業生産者の現状としては、農家戸数3,439戸のうち専業が34%、第一種兼業21%、第二種兼業45%であり、経営者の年齢構成は20〜30歳代が1.2%、40〜50歳代が26.5%、60〜70歳代72.3%と専業比率は高いが、若年層が少なく高齢者が70%強という全国的な傾向が見られます。経営の特徴としては、生産から出荷まで家族経営による集約型農業が展開されています。

次に今回の研修目的である「人・農地プラン(京都府では京力農場プラン)」の作成に係る農業委員、推進委員の関わりと集落営農の組織化、農産物の産地化、新規就農者の受け入れ体制と状況、併せて、担い手への集積状況等についていきさつを伺いました。

南あわじ市の中で一番農業が盛んで、専業化率も高く、農機具もそれぞれが所有しているA集落では、取り組みのポイントとして、農業委員がメンバーの一員となり、アンケートの実施や話し合いを重ねて後継者の確保や耕作放棄地対策の必要性等課題を明確化させ、新規就農者を迎える動きが高まりました。農業委員が対象者に働きかけ1名の新規就農者を確保し中心的経営体に位置づけると共に、中間管理事業を活用して約1haを2名の認定農業者へ集積しました。プランの話し合いを契機に今まで個別に水稲と野菜の複合経営が継続的に行われていましたが、低コストな米作りを目指し「集落営農組織化」を検討、その後、地区全体で取り組むことになりました。約1年間の話し合いを重ね、平成27年12月にプランの策定がされています。プラン策定後も定期的に月1回の検討委員会が開催され、若手農業者を中心として農業委員・推進委員が一緒に、担い手の負担軽減や、農地集積などについてアドバイザリーとして話し合いに参加されているとの事でした。





### 事務局からのお知らせ<必読>

注意してください!!

## 『残土処分を目的とする農地の形状変更届ではないですか?』

農地の形状変更は耕作を目的として水捌けが悪いことや、狭小・不整形な農地を隣接農地と併せ一枚にして区画の改善を図り営農がしやすいよう改善を行う行為です。

市内で発生した事例ですが、盛土後に耕作を再開せず、結果として残土処分が目的と考えられる行為がありました。

この場合、届出者(耕作者または地主)は、農地法上に於いて違法転用者と見なされ、原状回復を行なう必要があります。

懲役(三年以下)又は罰金(三百万円以下)「法人については億円以下の罰金刑」の罰則規定もあることから、土を入れたいと頼まれ、「荒れている農地だし、好きにしてもらったらええで!」と、軽い気持ちで届出者となると耕作がされなかった場合や、計画以上の嵩上げされた場合は届出者に責任が生じますので、安易に届出者とならないよう注意をお願いします。



## 東海・近畿ブロック 女性の農業委員会研修会

11月28日、東海・近畿ブロックの女性農業委員、女性農地利用最適化推進委員等が一堂に会し、委員活動の実態や今後の課題、農業・農村の再生に向けた具体的な実践活動について、ともに学び、ともに議論するための研修会が開催されました。

当研修会は「女性の力で進めよう!人・農地プラン」をテーマとして、京丹後市からも米田委員、川瀬委員、青木委員の3名が参加しました。

研修内容は、にいがた女性農業委員の会会長の講演をはじめ、ワークショップではグループに分かれ、二つのテーマ①「人・農地プランを進めるアイデアをだしあおう!」②「わがまちの女性委員を増やすアイデアをだしあおう!」を題材に各府県、市町村の取組状況や情報交換などの話し合いが行われました。



グループに分かれ意見を出し合う女性委員(中央:川瀬委員)

## 京丹後紀行 『白滝不動』 大宮町 常吉

大宮町谷内から与謝野町に通じる府道76号線沿いにある「つねよし百貨店」を越えた三叉路を右へ進むと、羽衣天女伝説のある磯砂山へと通じる。途中、「山霊大善神」と刻まれた大きな石碑があり、この辺りから「車谷」通称「車」と呼ばれる小集落になり、右に左に大きくくねるようにカーブした道に沿って二十戸ほどの人家がある。

その先、常吉浄水場を左にしながら、さらに林道を進むと、幹周3メートルは超す大杉と、地元の人々から「お不動さん」と親しまれる「白滝不動」のお堂が見えてくる。お堂の前を流れる清流が、眼下十数メートルの滝となり、しぶきをあげながら流れ落ちる姿は実に壮大だ。

昔、「車谷」の集落には、真言系の「正法寺」という大寺院があったと伝わり、「堂屋敷」「堂谷」等の地名が

残る。「白滝不動」の滝は、その修験道の修行場だったと伝わっており、多くの修験僧達が、「印」を結びながら滝行に励んだに違いない。

「白滝不動」のお堂の中には、たくさんのミミ着物(ミミ)が掛かっている。着物は、安産祈願に訪れた女性達が納めたもので、妊娠をした女性は、このお堂から一枚の着物を借りていき、無事に産むと、お札に新しい着物を納めるのだそう。もう、半世紀前のことになってしまったが、筆者の妻も安産を願い、着物を借りたのだそう。

たくさん着物の中には、いくつか新しいものもあることから、今でも安産を願い着物を納める人がいるのだらう。

お堂の正面には、左官職人が鋳で描いた「こて絵」がある。真ん中にはお不動さんの紋章、左右両側には鶴が描かれている。お堂の中の祭壇中央の不動明王の脇に、羽衣をまとった素朴な木彫りの女性神像があった。羽衣天女なのだろうか?



・上……着物  
・右下……女性神像  
・左下……こて絵

写真 今田 延(さん)  
松山 正(事務局)  
文 鴨田 忠司





# 郷土料理

## 花アラレ『餅花木』



### 餅花木 【作り方】

- ① 餅花木の形を整えるため剪定をする。
- ② お餅が搗き終わったら二等分にする。
- ③ ボールに少々の色粉と一、二滴の水をおとします。
- ④ 搗いて半分にした白餅に紅色を少し加え、手のひらで赤くなるよう揉み込みます。
- ⑤ 白と赤の餅を適当な大きさにちぎりながら枝に付けて行きます。  
豊作を願う稲穂の様に枝先につけ、垂れ下がる形にします。



### 【ひとこと 川瀬 明美 委員】

餅花木に使用した餅を外し、油で揚げれば花アラレとして美味しく頂けます。

## 農業者年金に加入しましょう

- ① 農業従事者なら広く加入できます  
(60歳未満、国民年金1号被保険者、60日以上従事)
- ② 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます  
(月2万円~6万7千円の間で千円単位)
- ③ 税制面で大きな優遇措置があります  
(保険料は全額社会保険料控除の対象になります)
- ④ 積立方式、⑤ 終身年金、⑥ 保険料の国庫補助(要件有)

私も入ってます。



ひの いっぺい  
◎ 樋野 一平さん(弥栄町堤)